

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成 30 年 3 月 26 日

2 級受検番号 NO.03S3120514 氏 名 Y.I （神奈川県在住）

1 試験に向けた準備の状況

どのような内容を、どの程度行ったか

- ・ 1 級キャリアコンサルティング技能士の会の当社に特化した、2 級対策講座 3 日間の研修に参加（論述（添削）対策、面接対策、ロープレ個別レッスン）した。
- ・ 論述は過去問を繰り返し行った（試験前 1 ヶ月程度）
- ・ 面接ロープレ実施（10 数回）

準備に対する振り返り

- ・ 年始バタバタしてロープレの回数がこなせずもう少し直前でロープレを実施したかった

これから受検する人へのアドバイス

- ・ ロープレを回数こなすことが一番役に立ったと思います。
- ・ 試験を受ける仲間と情報共有することでお互いに高めあうことができたと思います。

2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけて）

試験日：1 月 14 日(日)

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

- ・ 前回、土曜日に申し込んでいたが、日程を間違えて翌日に試験会場に行って面接を受けられなかったため、日曜日に設定した。
- ・ 論述から間が空いてしまうと感覚を忘れてしまいそうな点、年明けすぐだとバタバタして準備ができない点から年明け早めの日程を選択した。

試験官の性別：男性 2 人 事例番号：2（西脇さん）

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	守秘義務について、所要時間についての説明を加えた。
② 基本的態度	相談者の話を聞くことに集中した。最初から最後まで同じ対応ができるよう心掛けた。
③ 関係構築	相談者の表情やしぐさを観察し、気持ちに関わる言葉を一つ一つ丁寧に拾って共感するように心掛けた。
④ 問題把握	自己理解、仕事理解、中長期的視点、コミュニケーションといったキーワードと相談者の話をつなぎ合わせるようにした。
⑤ 具体的展開	コミュニケーション不足を解消できる方法について話を進めたところ相談者の表情が暗くなってしまったので、後回しにして自己理解を進める方法を一緒に考える方向で話を進めた。

⑥ 口頭試問の内容と回答	できた点/できなかった点、CL と関係構築はできたか、CL 視点の問題、CC 視点の問題、問題に対して何をしたか、(他にやりたいことについての質問なし→おそらくできなかった点でやりたいことを話していたから)
これから受検する人へのアドバイス 面接試験は相談者の話をしっかり聞くことだけを考えて、相談者の表情、しぐさ、言葉をひとつひとつ拾っていくことに集中しました。 ロープレの回数をこなすことで、CC としての自分を客観的に冷静に見ることができるようになったように思います。試験直前のロープレでは CC 役をやっている自分を後ろから見ているような感じになり、口頭試問では自分の分身について話をしているような感覚でした。 研修を受講した上で正しい理解のもとでロープレをこなすことが一番だと思います。	